

# 2021年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況	P.3
4. 第2四半期 業績と予想（連結）	P.4
5. 主要製品の状況	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.6
7. 開発品一覧	P.7～8
【参考資料】	
8. 損益計算書の概要（連結）	P.9～10
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.11
10. 主な業績項目の推移（連結）	P.12
11. 杏林製薬資料	P.13～16

2020年11月5日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2021年3月期 第2四半期 決算概観（連結）

（単位：百万円）

	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	増減率	21年3月期 (修正予想)	前年比	21年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	50,758	50,360	48,299	47,735	-1.2%	108,000	-1.8%	115,500	+5.0%
営業利益	1,443	2,852	783	1,502	+91.7%	7,800	+4.0%	9,700	+29.3%
経常利益	1,693	3,183	1,076	1,813	+68.5%	8,400	+2.7%	10,200	+24.8%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,240	2,217	834	2,118	+154.0%	7,200	+17.1%	7,600	+23.6%

## 21年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

**【売上高】** 主力製品「ペオバ」、「デザレックス」は伸長しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による医療用医薬品市場のマイナス成長、MR活動の自粛等による新薬群の市場への浸透の遅れにより、新医薬品等（国内）は、328億57百万円と前年同期を下回る実績となりました。他方、後発医薬品の売り上げはAG戦略の推進等により増加しましたが、全体の売上高は477億35百万円と5億63百万円の減収（前年同期比1.2%減）となりました。

**【利益】** 売り上げは減少したものの、売上原価率が改善したことにより、売上総利益は前年同期に対して2億73百万円増加しました。販売費及び一般管理費は、コスト削減及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴うMR活動の自粛等により、前年同期に対して4億45百万円減少（内、研究開発費9百万円増）し、営業利益は15億02百万円と7億18百万円の増益（前年同期比91.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、一部開発パイプラインの開発中止に伴い、JST\*からの長期借入金に対する返済義務の一部免除による債務免除益10億73百万円を計上したことから、21億18百万円（前年同期比154.0%増）となりました。

\*国立研究開発法人科学技術振興機構

## 21年3月期 連結業績（予想）

2020年5月12日付け「2020年3月期 決算短信」にて公表しました2021年3月期の（通期）連結業績予想を以下の通り修正しました。

詳細はP.4をご覧ください。

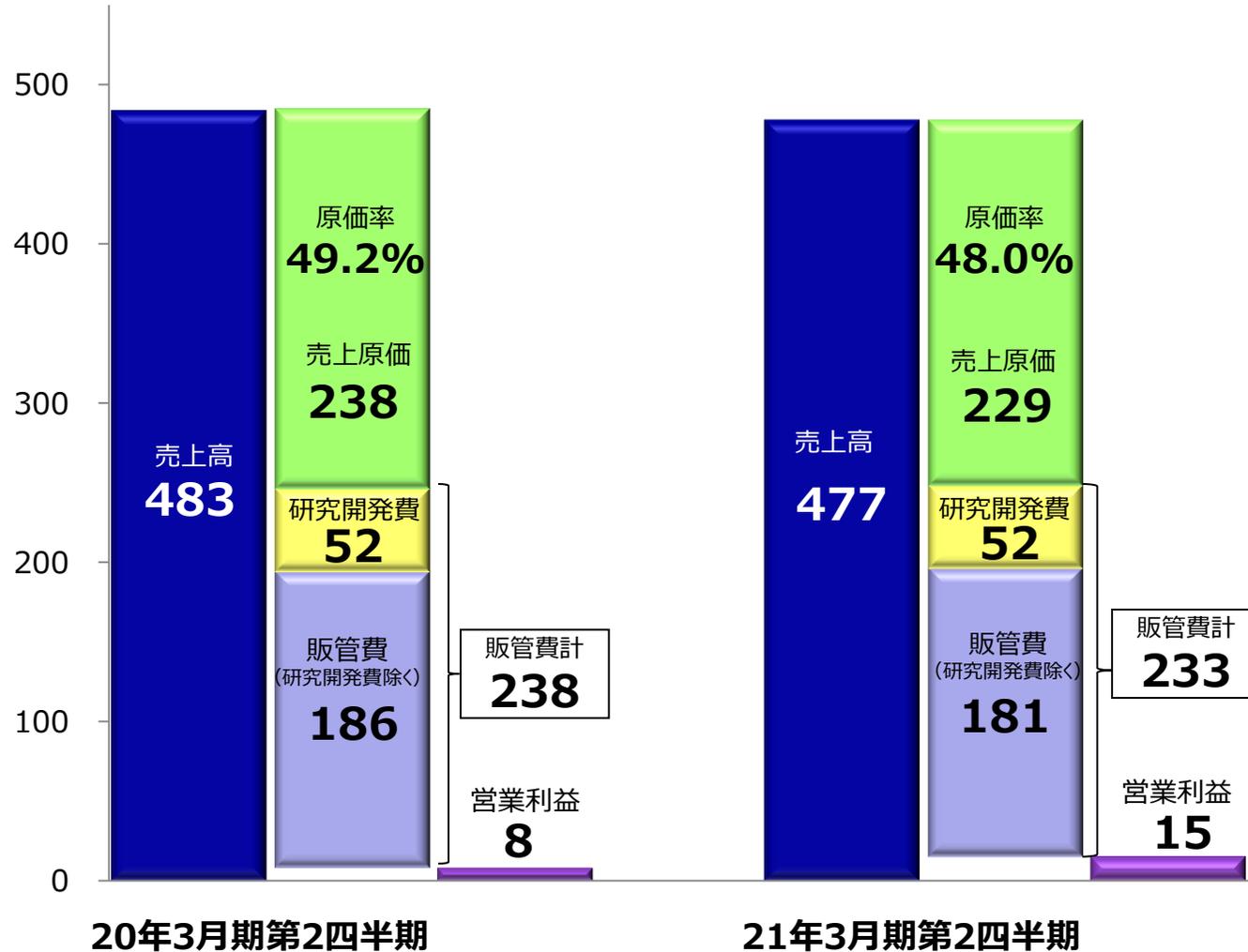
**【売上高】** 第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を織り込み、売上高を下方修正いたしました。

**【利益】** 売り上げ減少による売上総利益の減少を見込みます。また、販売費及び一般管理費（研究開発費除く）を削減する一方、開発候補品のライセンス契約締結による契約一時金の計上により研究開発費の増加を見込みます。これらの結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正しました。

**【配当】** 2020年5月12日に公表した配当予想（年間75円/株）の変更はございません。

# 2021年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



## 【ポイント】

- ▶ 売上高は前年同期比6億円減少
- ▶ 売上原価率は1.2ポイント低下
  - ・プロダクトミックスの影響
  - ・原価低減の取り組み（原材料費の低減等）

■ 売上総利益は前年比3億円増加

- ▶ 販管費は前年同期比5億円減少
  - ・研究開発費は横ばい
  - ・販管費（研究開発費除く）は5億円減少

■ 営業利益は前年比7億円増加

# 2021年3月期 第2四半期 業績の状況

(単位：億円)	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	対前年		(対前年)	(対予想)※
<b>売上高</b>	483	<b>477</b>	-6	<b>■売上高</b>	<b>477億円</b>	<b>( -6) ( -51)</b>
新医薬品等 (国内)	337	<b>329</b>	-8	●新医薬品等 (国内)	<b>329億円</b>	<b>( -8) ( -39)</b>
新医薬品 (海外)	4	<b>5</b>	+1	20.3 (2Q)	21.3 (2Q)	
後発医薬品	142	<b>144</b>	+2	・フルティフォーム	67 ⇒ 64	( -3) ( -6)
				・デザレックス	0 ⇒ 18	( +18) ( -13)
				・ベオーバ	6 ⇒ 38	( +32) ( +3)
				・ラスビック	- ⇒ 2	( +2) ( -12)
				・ペンタサ	68 ⇒ 64	( -4) ( +5)
				・ウリス	30 ⇒ 16	( -14) ( -2)
				・ナゾネックス	27 ⇒ 6	( -21) ( 0)
				・キプレス	54 ⇒ 35	( -19) ( -6)
				・ムコダイン	28 ⇒ 14	( -14) ( -8)
				●海外新医薬品	<b>5億円</b>	<b>( +1) ( +2)</b>
				●後発医薬品	<b>144億円</b>	<b>( +2) ( -12)</b>
				◆営業利益	<b>15億円</b>	<b>( +7) ( -9)</b>
<b>営業利益</b>	8	<b>15</b>	+7	◆営業利益率は3.1%と前年比1.5ポイント上昇		
経常利益	11	<b>18</b>	+7	●原価率：前年比1.2ポイント低下(49.2%⇒48.0%)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8	<b>21</b>	+13	【低下要因】プロダクトミックスの影響、原価低減の取り組み (原材料費の低減等)		
				【上昇要因】薬価改定、後発医薬品の売上増加等		
				●研究開発費率：前年比0.2ポイント上昇(10.7%⇒10.9%)		
				●販管費率(研究開発費除く)：前年比0.5ポイント低下(38.5%⇒38.0%)		
				◆親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>21億円</b>	<b>( +13) ( +2)</b>
				一部開発パイプラインの開発中止に伴い、JSTからの長期借入金に対する返済義務の一部免除による 債務免除益を計上		

2021年3月期 第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分  
 (「医療用医薬品事業」「ヘルスケア事業」)を集約し、単一セグメントに変更しました。  
 これに伴い、売上高の区分を変更し、従来の「新医薬品(国内)」と「ヘルスケア事業」  
 を合わせて「新医薬品等(国内)」としております。  
 なお、「新医薬品(海外)」「後発医薬品」に変更はありません。

※ 第2四半期連結業績予想について、2020年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2020年5月12日公表値との差異を示します

# 2021年3月期 第2四半期 業績と予想 (連結)

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期 (実績)	21年3月期 第2四半期			21年3月期 第2四半期 (予想)	差額※	20年3月期 (実績)	21年3月期 (修正予想)	当初予想 との差額
		実績	差額	増減率 (%)					
<b>売上高</b>	48,299	<b>47,735</b>	-563	-1.2	52,800	-5,065	109,983	<b>108,000</b>	-7,500
新医薬品等 (国内)	33,742	<b>32,857</b>	-885	-2.6	36,800	-3,943	77,535	<b>73,800</b>	-5,900
新医薬品 (海外)	390	<b>527</b>	+136	+35.1	300	+227	1,490	<b>1,100</b>	+100
後発医薬品	14,166	<b>14,351</b>	+184	+1.3	15,600	-1,249	30,957	<b>33,000</b>	-1,900
<b>営業利益</b>	783	<b>1,502</b>	+718	+91.7	2,400	-898	7,503	<b>7,800</b>	-1,900
<b>経常利益</b>	1,076	<b>1,813</b>	+736	+68.5	2,600	-787	8,175	<b>8,400</b>	-1,800
<b>親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益</b>	834	<b>2,118</b>	+1,284	+154.0	1,900	+218	6,149	<b>7,200</b>	-400

※ 第2四半期連結業績予想について、2020年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2020年5月12日公表値との差異を示します

2021年3月期 第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分（「医療用医薬品事業」「ヘルスケア事業」）を集約し、単一セグメントに変更しました。これに伴い、売上高の区分を変更し、従来の「新医薬品(国内)」と「ヘルスケア事業」を合わせて「新医薬品等(国内)」としております。なお、「新医薬品(海外)」「後発医薬品」に変更はありません。

# 2021年3月期 第2四半期 主要製品の状況

	(単位：億円)	19年3月期 第2四半期 (実績)	20年3月期 第2四半期 (実績)	21年3月期 第2四半期			21年3月期 第2四半期		20年3月期 (実績)	21年3月期 (修正予想)	当初予算 との差額
				実績	差額	増減 (%)	予想	差額※			
新医薬品 等 (国内)	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	61	67	64	-3	-5.6%	70	-6	146	145	-5
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	28	0	18	+18	-	31	-13	26	75	-13
	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	-	6	38	+32	+496.9%	35	+3	43	73	+3
	ラスビック錠 (キノロン系経口抗菌剤)	-	-	2	+2	-	14	-12	11	17	-24
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	71	68	64	-4	-6.0%	59	+5	133	125	+8
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	35	30	16	-14	-47.3%	18	-2	58	22	-5
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	13	27	6	-21	-76.4%	6	0	60	24	-2
	キプレス(成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	29	24	17	-7	-30.5%	18	-1	53	38	-4
	キプレス(小児製剤) (気管支喘息治療剤)	33	30	18	-12	-38.9%	22	-4	65	43	-10
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	31	28	14	-14	-48.0%	22	-8	58	33	-16
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	11	11	11	0	+0.9%	11	0	24	23	+1
	ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	6	6	10	+4	+64.5%	6	+4	15	21	+7
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	53	54	45	-9	-16.8%	47	-2	115	102	-5
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	-	4	9	+5	+142.8%	9	0	28	35	0
	イミダフェナシン錠「杏林」 (過活動膀胱治療剤)	-	-	3	+3	-	4	-1	-	8	-2

※ 第2四半期連結業績予想について、2020年11月2日に修正をリリースしましたが、対予想は2020年5月12日公表値との差異を示します

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	<b>21年3月期 第2四半期</b>	増減率 (%)	20年3月期	<b>21年3月期 (修正予想)</b>
研究開発費	7,179	5,030	5,191	<b>5,200</b>	+0.2	10,987	<b>10,000</b>
設備投資	1,989	949	1,367	<b>1,858</b>	+35.9	3,590	<b>5,100</b>
減価償却費	1,710	1,395	1,566	<b>1,716</b>	+9.6	3,221	<b>3,800</b>

## 設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	20年3月期 第2四半期	<b>21年3月期 第2四半期</b>
工場設備	8	<b>13</b>
管理・販売設備	3	<b>2</b>
研究用設備	2	<b>3</b>

20年3月期	<b>21年3月期 (予想)</b>
27	<b>38</b>
4	<b>4</b>
5	<b>9</b>

# 開発品一覧① (2020年11月5日現在)

※前回 (2020年8月3日) からの変更点

## PhⅢ ~ 承認

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
申請 (19年10月)		<b>KRP-AM1977Y</b> (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	下気道感染症治療に特化して開発した新規キノロン注射剤 1. 肺に高濃度分布し、呼吸器感染症の起炎菌に強い抗菌力を示す 2. 好気性菌と嫌気性菌双方に有効、かつ1日1回投与が可能 3. 誤嚥性肺炎、肺化膿症・肺膿瘍に対しても有効性が確認された	
申請 (20年3月)		<b>KRP-116D</b>	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	

・慢性咳嗽治療剤「MK-7264」販売協業に関する覚書締結 (19年5月) MSD PhⅢ

**KRP-108P** (喘息治療配合剤「フルティフォーム®50 エアゾール」の小児適応追加) : 2020年6月に承認取得

## POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I (20年7月)	Ph I b/ II a (aTyr社:米国)	<b>KRP-R120</b>	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	aTyr社	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体(NRP2)に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

※ 遺伝子治療剤「Ad-SGE-REIC」につきましては、当初設定していた製品プロファイルの実現が難しいとの判断に至り、開発を中止いたしました

# 開発品一覧② (2020年11月5日現在)

※前回 (2020年8月3日) からの変更点

## 導入品の状況

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (19年12月) あすか製薬が実施中		<b>AKP-009</b> ※	前立腺肥大症	あすか製薬	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結 (20年9月)

## 導出品の状況

開発段階 / 海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	<b>FPR2作動薬 プログラム</b>	ブリistol・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	ブリistol・マイヤーズスクイブ社とライセンス契約 (15年12月)
Ph I	<b>KRP-203</b> ※	Priothera社		自社	S1P受容体アゴニスト	本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産および原薬等を譲渡 (20年9月)
非臨床	<b>感音難聴開発化合物</b>	Otonomy社		自社	感音難聴を対象とした新規開発候補化合物	難聴等の耳科を対象とする全世界における開発、製造、販売に関する独占的権利を供与 (20年8月) 杏林製薬は日本における販売権を留保 Otonomy社 開発コード: <b>OTO-6XX</b>

# (参考資料) 損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
<b>売上高</b>	48,299	100.0%	<b>47,735</b>	100.0%	-1.2%	-563
新医薬品等 (国内)	33,742	69.9%	<b>32,857</b>	68.8%	-2.6%	-885
新医薬品 (海外)	390	0.8%	<b>527</b>	1.1%	+35.1%	+136
後発医薬品	14,166	29.3%	<b>14,351</b>	30.1%	+1.3%	+184

## <当期のポイント：対前年>

(対前年)

■売上高 **47,735百万円** ( -563百万円)

●新医薬品等 (国内) **32,857百万円** ( -885百万円)

(億円)	20.3 (2Q)	⇒	21.3 (2Q)	
・フルティフォーム	67	⇒	64	( -3)
・デザレックス	0	⇒	18	( +18)
・ベオーバ	6	⇒	38	( +32)
・ラスビック	-	⇒	2	( +2)
・ペンタサ	68	⇒	64	( -4)
・ウリトス	30	⇒	16	( -14)
・ナゾネックス	27	⇒	6	( -21)
・キプレス	54	⇒	35	( -19)
・ムコダイン	28	⇒	14	( -14)

●新医薬品 (海外) **527百万円** ( +136百万円)

・開発パイプライン (KRP-203) の知的財産および原薬等の譲渡

●後発医薬品 **14,351百万円** ( +184百万円)

・薬価改定による売上減少があるものの、ナゾネックスのAG、ウリトスのAG及び6月発売の追補品、他社からの受託等が売上に寄与

### <連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社5社： 杏林製薬(株)  
 Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences, Inc.  
 キョーリン リメディオ(株)  
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

# 損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
<b>売上高</b>	48,299	100.0%	<b>47,735</b>	100.0%	-1.2%	-563
<b>売上原価</b>	23,750	49.2%	<b>22,913</b>	48.0%	-3.5%	-837
<b>売上総利益</b>	24,549	50.8%	<b>24,822</b>	52.0%	+1.1%	+273
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	23,765 (5,191)	49.2% (10.7%)	<b>23,320</b> <b>(5,200)</b>	48.9% (10.9%)	-1.9% (+0.2%)	-445 (+9)
<b>営業利益</b>	783	1.6%	<b>1,502</b>	3.1%	+91.7%	+718
営業外収益	351	0.7%	<b>356</b>	0.7%	+1.4%	+4
営業外費用	59	0.1%	<b>45</b>	0.1%	-23.2%	-13
<b>経常利益</b>	1,076	2.2%	<b>1,813</b>	3.8%	+68.5%	+736
特別利益	123	0.3%	<b>1,074</b>	2.3%	+766.6%	+950
特別損失	21	0.0%	<b>12</b>	0.0%	-41.6%	-8
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	1,178	2.4%	<b>2,874</b>	6.0%	+143.9%	+1,696
法人税・住民税 及び事業税	354	0.7%	<b>809</b>	1.7%	+128.6%	+455
法人税等調整額	-9	0.0%	<b>-53</b>	-0.1%	-463.3%	-43
<b>親会社株主に帰属 する四半期純利益</b>	834	1.7%	<b>2,118</b>	4.4%	+154.0%	+1,284

## <当期のポイント：対前年>

- ◆ **売上原価率：前年比1.2ポイント低下**  
**(49.2%→48.0%)**
  - ・プロダクトミクスによる原価率の低減
  - ・原価率低減の取り組み（原材料費の低減等）
- ◆ **研究開発費率：前年比0.2ポイント上昇**  
**(10.7%→10.9%)**
  - ・52億円→52 億円
- ◆ **販管費率（研究開発費除く）：前年比0.5ポイント低下**  
**(38.5%→38.0%)**
  - ・186億円→181億円（5億円減少）
  - ・主に販売費及び一般経費の減少
- **営業利益 1,502百万円（+718百万円）**
  - ・営業利益率は3.1%と1.5ポイント上昇
- **親会社株主に帰属 2,118百万円（+1,284百万円）  
する四半期純利益**
  - ・長期借入金に対する債務免除益 11億円
- **配当（中間） 30円00銭**

# 貸借対照表の概要（連結）

(単位：百万円)	20年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	117,058	68.4%
現金及び預金	31,925	
受取手形及び売掛金	47,449	
有価証券	993	—
棚卸資産	33,283	
その他	3,406	
<b>固定資産</b>	54,102	31.6%
有形固定資産	22,721	
無形固定資産	3,332	—
投資その他	28,047	
<b>資産合計</b>	171,160	100.0%

21年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>113,860</b>	<b>67.1%</b>	<b>-3,197</b>
37,139		
31,818		
1,300	—	—
40,248		
3,353		
<b>55,929</b>	<b>32.9%</b>	<b>+1,826</b>
23,105		
3,306	—	—
29,517		
<b>169,789</b>	<b>100.0%</b>	<b>-1,370</b>

<b>流動負債</b>	31,328	18.3%
支払手形及び買掛金	9,776	
その他流動負債	21,551	—
<b>固定負債</b>	17,121	10.0%
<b>負債合計</b>	48,449	28.3%
<b>株主資本</b>	118,534	69.3%
<b>その他の包括利益累計額</b>	4,176	2.4%
その他有価証券評価差額金	6,922	
為替換算調整勘定	36	—
退職給付に係る調整累計額	-2,782	
<b>純資産合計</b>	122,710	71.7%
<b>負債及び純資産合計</b>	171,160	100.0%

<b>30,812</b>	<b>18.1%</b>	<b>-516</b>
10,175		
20,636	—	—
<b>15,576</b>	<b>9.2%</b>	<b>-1,544</b>
<b>46,389</b>	<b>27.3%</b>	<b>-2,060</b>
<b>118,045</b>	<b>69.5%</b>	<b>-488</b>
<b>5,355</b>	<b>3.2%</b>	<b>+1,178</b>
7,944		
17	—	—
-2,606		
<b>123,400</b>	<b>72.7%</b>	<b>+689</b>
<b>169,789</b>	<b>100.0%</b>	<b>-1,370</b>

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：3,197百万円減

- ・現金及び預金の増加 ( +5,213百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 ( -15,630百万円)
- ・有価証券の増加 ( +307百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +6,964百万円)
- ・その他の減少 ( -52百万円)

### ■ 固定資産：1,826百万円増

- ・有形固定資産の増加 ( +383百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -26百万円)
- ・投資その他の増加 ( +1,469百万円)

### ■ 流動負債：516百万円減

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +398百万円)
- ・その他流動負債の減少 ( -914百万円)

### ■ 固定負債：1,544百万円減

# 主な業績項目の推移（連結）

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	20年3月期	21年3月期 (修正予想)	21年3月期 (当初予想)
売上高 (海外売上)	50,360 (604)	48,299 (390)	<b>47,735</b> <b>(527)</b>	109,983 (1,490)	<b>108,000</b> <b>(1,100)</b>	<b>115,500</b> <b>(1,000)</b>
売上原価 (売上原価率) %	23,758 (47.2%)	23,750 (49.2%)	<b>22,913</b> <b>(48.0%)</b>	52,950 (48.1%)	—	—
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	23,749 (47.2%)	23,765 (49.2%)	<b>23,320</b> <b>(48.9%)</b>	49,528 (45.0%)	—	—
うち研究開発費 (研究開発费率) %	5,030 (10.0%)	5,191 (10.7%)	<b>5,200</b> <b>(10.9%)</b>	10,987 (10.0%)	<b>10,000</b> <b>(9.3%)</b>	<b>9,600</b> <b>(8.3%)</b>
営業利益 (営業利益率) %	2,852 (5.7%)	783 (1.6%)	<b>1,502</b> <b>(3.1%)</b>	7,503 (6.8%)	<b>7,800</b> <b>(7.2%)</b>	<b>9,700</b> <b>(8.4%)</b>
経常利益 (経常利益率) %	3,183 (6.3%)	1,076 (2.2%)	<b>1,813</b> <b>(3.8%)</b>	8,175 (7.4%)	<b>8,400</b> <b>(7.8%)</b>	<b>10,200</b> <b>(8.8%)</b>
四半期（当期）純利益 (四半期（当期）純利益率) %	2,217 (4.4%)	834 (1.7%)	<b>2,118</b> <b>(4.4%)</b>	6,149 (5.6%)	<b>7,200</b> <b>(6.7%)</b>	<b>7,600</b> <b>(6.6%)</b>
一株当たり利益（円）	30.04円	14.56円	<b>36.98円</b>	107.35円	<b>125.68円</b>	<b>132.67円</b>
資本金	700	700	<b>700</b>	700	—	—
総資産	196,255	165,895	<b>169,789</b>	171,160	—	—
純資産	164,618	119,516	<b>123,400</b>	122,710	—	—
一株当たり純資産（円）	2228.81円	2,086.31円	<b>2,153.51円</b>	2,142.07円	—	—
自己資本利益率 %	1.4%	0.7%	<b>1.7%</b>	5.0%	—	—
自己資本比率 %	83.9%	72.0%	<b>72.7%</b>	71.7%	—	—
人員（人）	2,334人	2,292人	<b>2,282人</b>	2,271人	—	—
設備投資	949	1,367	<b>1,858</b>	3,590	<b>5,100</b> ↓	<b>5,100</b>
減価償却費	1,395	1,566	<b>1,716</b>	3,221	<b>3,800</b> ↓	<b>3,800</b>

# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	41,667	100.0%	<b>41,116</b>	100.0%	-1.3%	-550
新医薬品等（国内）	32,373	77.7%	<b>31,813</b>	77.4%	-1.7%	-560
新医薬品（海外）	293	0.7%	<b>433</b>	1.1%	+47.8%	+140
後発医薬品	8,999	21.6%	<b>8,869</b>	21.6%	-1.5%	-129

## <当期のポイント：対前年>

- (対前年)
- 売上高 **41,116百万円** ( -550百万円)
  - 新医薬品等（国内） **31,813百万円** ( -560百万円)

(億円)	20.3 (2Q)	⇒	21.3 (2Q)	
・フルティフォーム	67	⇒	64	( -3)
・デザレックス	0	⇒	18	( +18)
・ペオーバ	6	⇒	38	( +32)
・ラスビック	-	⇒	2	( +2)
・ペンタサ	68	⇒	64	( -4)
・ウリス	30	⇒	16	( -14)
・ナゾネックス	27	⇒	6	( -21)
・キプレス	54	⇒	35	( -19)
・ムコダイン	28	⇒	14	( -14)

- 新医薬品（海外） **433百万円** ( +140百万円)

・開発パイプラインの知的財産および原薬等の譲渡

- 後発医薬品 **8,869百万円** ( -129百万円)

・ナゾネックスのAGおよびウリスのAG売上は増加するものの、卸店ルートでの売上減少

# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
<b>売上高</b>	41,667	100.0%	<b>41,116</b>	100.0%	-1.3%	-550
<b>売上原価</b>	20,638	49.5%	<b>19,773</b>	48.1%	-4.2%	-864
<b>売上総利益</b>	21,029	50.5%	<b>21,343</b>	51.9%	+1.5%	+314
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	21,386 (4,717)	51.3% (11.3%)	<b>21,021</b> <b>(4,687)</b>	51.1% (11.4%)	-1.7% (-0.6%)	-364 (-30)
<b>営業利益</b>	-357	-0.9%	<b>321</b>	0.8%	—	+678
営業外収益	641	1.5%	<b>643</b>	1.6%	+0.2%	+1
営業外費用	41	0.1%	<b>28</b>	0.1%	-29.8%	-12
<b>経常利益</b>	243	0.6%	<b>936</b>	2.3%	+284.1%	+692
特別利益	—	—	<b>1,073</b>	2.6%	—	+1,073
特別損失	14	0.0%	<b>4</b>	0.0%	-66.2%	-9
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	229	0.6%	<b>2,005</b>	4.9%	+773.1%	+1,775
法人税・住民税 及び事業税	107	0.3%	<b>604</b>	1.5%	+461.5%	+496
法人税等調整額	-15	0.0%	<b>-</b>	—	—	+15
<b>親会社株主に帰属 する四半期純利益</b>	137	0.3%	<b>1,400</b>	3.4%	+917.4%	+1,263

## <当期のポイント：対前年>

- ◆ **売上原価率：前年比 1.4ポイント低下 (49.5%→48.1%)**
  - ・(上昇要因) 薬価改定
  - ・(低下要因) プロダクトミックスの改善  
原価率低減の取り組み(原材料費の低減等)
- ◆ **研究開発費率：前年比 0.1ポイント上昇 (11.3%→11.4%)**
  - ・47億円→47億円
- ◆ **販管費率(研究開発費除く)：前年比0.3ポイント低下 (40.0%→39.7%)**
  - ・167億円→163億円(4億円減少)  
コスト削減および営業自粛による販売費及び一般経費の減少
- **営業利益 321百万円(+678百万円)**
  - ・売り上げは減少するものの、売上原価率の低下により売上総利益は増加。  
さらに販管費(研究開発費除く)の減少により増益。
- **四半期純利益 1,400百万円(+1,263百万円)**
  - ・長期借入金に対する債務免除益 11億円

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	20年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	121,234	75.5%
現金及び預金	18,323	
売掛金	42,831	
有価証券	993	—
棚卸資産	26,927	
その他	32,157	
<b>固定資産</b>	39,336	24.5%
有形固定資産	7,328	
無形固定資産	2,741	—
投資その他	29,265	
<b>資産合計</b>	160,570	100.0%

21年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>119,764</b>	74.6%	-1,469
<b>24,963</b>		
<b>27,679</b>		
<b>1,300</b>	—	—
<b>32,887</b>		
<b>32,934</b>		
<b>40,809</b>	25.4%	1,473
<b>7,119</b>		
<b>2,688</b>	—	—
<b>31,001</b>		
<b>160,574</b>	100.0%	4

<b>流動負債</b>	27,730	17.3%
買掛金	10,294	—
その他流動負債	17,436	
<b>固定負債</b>	13,433	8.4%
<b>負債合計</b>	41,164	25.6%
<b>株主資本</b>	112,525	70.1%
<b>評価・換算差額等</b>	6,880	4.3%
<b>純資産合計</b>	119,405	74.4%
<b>負債及び純資産合計</b>	160,570	100.0%

<b>28,125</b>	17.5%	395
<b>9,942</b>	—	—
<b>18,183</b>		
<b>12,557</b>	7.8%	-876
<b>40,682</b>	25.3%	-481
<b>111,994</b>	69.7%	-530
<b>7,896</b>	4.9%	1,015
<b>119,891</b>	74.7%	485
<b>160,574</b>	100.0%	4

## <当期のポイント> (対前期末)

### ■ 流動資産：1,469百万円減

- ・現金及び預金の増加 ( +6,639百万円)
- ・売掛金の減少 ( -15,151百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +5,959百万円)
- ・その他の増加 ( +776百万円)

### ■ 固定資産：1,473百万円増

- ・有形固定資産の減少 ( -208百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -53百万円)
- ・投資その他の増加 ( +1,735百万円)

### ■ 流動負債：395百万円増

- ・買掛金の減少 ( -351百万円)
- ・未払金の増加 ( +1,014百万円)

### ■ 固定負債：876百万円減

- 長期借入金の減少 ( -1,277百万円)

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	20年3期	21年3月期 (修正予想)	21年3月期 (当初予想)
売上高 (海外売上)	43,957 (477)	41,667 (293)	<b>41,116</b> <b>(433)</b>	96,336 (1,260)	<b>93,900</b> <b>(900)</b>	<b>100,700</b> <b>(700)</b>
売上原価 (売上原価率) %	20,747 (47.2%)	20,638 (49.5%)	<b>19,773</b> <b>(48.1%)</b>	47,339 (49.1%)	—	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	21,541 (49.0%)	21,386 (51.3%)	<b>21,021</b> <b>(51.1%)</b>	44,675 (46.4%)	—	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	4,556 (10.4%)	4,717 (11.3%)	<b>4,687</b> <b>(11.4%)</b>	10,038 (10.4%)	<b>9,000</b> <b>(9.6%)</b>	<b>8,400</b> <b>(8.3%)</b>
営業利益 (営業利益率) %	1,669 (3.8%)	-357 (-0.9%)	<b>321</b> <b>(0.8%)</b>	4,321 (4.5%)	<b>5,100</b> <b>(5.4%)</b>	<b>7,300</b> <b>(7.2%)</b>
経常利益 (経常利益率) %	1,967 (4.5%)	243 (0.6%)	<b>936</b> <b>(2.3%)</b>	5,340 (5.5%)	<b>6,000</b> <b>(6.4%)</b>	<b>8,200</b> <b>(8.1%)</b>
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	1,319 (3.0%)	137 (0.3%)	<b>1,400</b> <b>(3.4%)</b>	3,996 (4.1%)	<b>5,500</b> <b>(5.9%)</b>	<b>6,200</b> <b>(6.2%)</b>
一株当たり利益(円)	17.76円	1.85円	<b>18.86円</b>	53.82円	—	—
資本金	4,317	4,317	<b>4,317</b>	4,317	—	—
総資産	145,896	156,318	<b>160,574</b>	160,570	—	—
純資産	123,018	116,975	<b>119,891</b>	119,405	—	—
一株当たり純資産(円)	1,656.41円	1,575.04円	<b>1,614.30円</b>	1,607.77円	—	—
自己資本利益率 %	1.0%	0.1%	<b>1.2%</b>	3.3%	—	—
自己資本比率 %	84.3%	74.8%	<b>74.7%</b>	74.4%	—	—
人員(人)	1,606人	1,537人	<b>1,504人</b>	1,502人	—	—
設備投資	193	185	<b>207</b>	441	<b>700</b>	<b>700</b>
減価償却費	521	679	<b>684</b>	1,337	<b>1,500</b>	<b>1,500</b>

## ■ 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



